



畜産草地研究所

牛乳分析用赤外分光分析器を用いた牛乳リポリシスの簡易判定法

橘内克弘・鈴木一郎

品質開発部

要約

牛乳分析用赤外分光分析器(ミルコスキャン134A/B)においては、二波長による脂肪含量の測定が可能である(5.7 μ mでの測定値をFatA、3.5 μ mでの測定値をFatBと称する)。牛乳に人為的リポリシスを誘導することにより、FatAは著しく低下し、FatBは若干上昇した。この変化は、リポリシスによりFatA、FatBの各測定波長付近の赤外スペクトルが変化することが原因であった。人為的リポリシスを誘導した牛乳においては、FatB/FatA値と遊離脂肪酸量の間には正の相関が認められ、また、人為的リポリシスを誘導しない個体乳においても同様の相関が認められた。以上の結果より、我々は、FatB/FatA値による牛乳リポリシスの簡易判定法を確立した。

キーワード: リポリシス、簡易判定法、ミルコスキャン